

『医療・保健・福祉・市民の交流の場』

# 大村市在宅ケアセミナーだより

第140号 平成30年9月 発行元：〒856-0820 長崎県大村市協和町779

(一社)大村市医師会大村市在宅ケアセミナー広報部 TEL：0957-54-0151

ホームページ：<http://www.nagasaki.med.or.jp/oomura/caresemi/index.html>

平成30年度メインテーマ『市民と繋がる、市民を支える架け橋となる』～在宅ケアセミナーの原点回帰～

## 第157回 大村市在宅ケアセミナーのご案内

日時：平成30年9月20日（木）18：45～20：30

場所：大村市コミュニティーセンター 大会議室

講演：『人生の最期を支えるオーラルマネジメント』

医療法人福泉会 みずほ内科・歯科クリニック

理事長 川端貴美子先生



11月15日（木）の  
大村市在宅ケアセミナーは  
鹿児島県から黒野明日嗣先生をお迎えし、  
『認知症の方のいい最期のために必要な  
こと（仮）』と題して、ご講演頂きます。  
11月もお楽しみに！！



夏越まつり総踊りに140名で参加し  
『おおむら音頭賞』を頂きました。  
出場された皆様、応援して頂き  
ました皆様、本当にありがとうございました。

大村市在宅ケアセミナー会長 岡 浩之  
📷 下記から写真が閲覧できます。  
<https://photos.app.goo.gl/MzXa6dbvVrcnvziS7>

## 年会費の納金を忘れずにお願いします。

- セミナー受講の際は、会員証を受付で必ずご提示下さい。  
(平成29年度 会員340名)
- 大村市医師会のホームページにてセミナーだよりを  
掲載しております。便りの郵送不要の方はご連絡下さい。

平成30年度

大村市  
在宅ケアセミナー  
会員証



## 第 156 回 大村市在宅ケアセミナー開催報告

日 時：平成 30 年 7 月 19 日（木）18：45～20：30  
場 所：大村市コミュニティーセンター 大会議室  
内 容：『長崎のリハビリ事情

～これまでとこれから～』



長崎大学病院リハビリテーション部  
准教授 高島英昭先生

参加人数：98 名



## 第 156 回 大村市在宅ケアセミナー感想・質問

- 長崎がリハビリに強い想いがある先生が多くいらっしゃる事を知りとても誇らしかったです。
- これからの在宅生活がHappyになる為のリハビリのこれから は為になりました。
- 長崎のリハビリの展望がみえました。最新のお話が聞けてよかったです。
- 若いエネルギーを感じました。夢が現実になるよう頑張ってください！
- 最新のリハビリの発達などを知ることができて良かった。
- 是非、初期研修に組み入れてもらえればと思います。
- 興味がありましたので、とても勉強になりました。
- 最新のリハの情報を知ることができ大変有意義でした。安川電気のPV動画はとても感動的でした。ICF・QOLについて改めて学び考えさせられました。貴重なご講演をありがとうございました。
- リハビリが今後、長崎県内で生き生きしていく可能性を感じた。自分の職業（OT）を一生懸命頑張るやりがいがあるんだと。頑張っていこうと思いました。
- これからの展望が聞けて良かったです。
- 病気をみないで生活をする というフレーズが印象に残りました。
- リハビリ医のリハビリ事情がわかりよかったです。大変勉強になりました。
- とても良い勉強になりました。ありがとうございました。
- 話がわかりやすく楽しく最後まで聞くことができました。
- 普段かかわらない内容の話で面白かった。今後も色々な分野の話を知りたい。
- 最新のリハビリの内容をわかりやすく説明されていてよかった。リハビリ専門医ということを知らなかった
- 長崎の現状について知ることができ勉強になった。
- やっぱり高島先生の“ツボ”はすごく楽しく講聴できました。最新の治療も確かに気になりますがリハ栄養やQOLを重視したリハビリの提供ができる様に努力します。
- リハの実情がよくわかりました。リハビリは手段であって生活の質や人生の質を高めるものだと改めてわかりました。ありがとうございました！！
- わかりやすい説明でした。リハビリ専門医が少ないことに驚きました。
- 最新のリハに目を見張るものがありました。W/Cから立てない、歩けない等の人ロボットや義肢で本当に夢を叶えることができるという事に感動しました。さらに進化して多くの人を救えたらと思います。人を診るリハへの熱意を持つ高島先生の講演はとても分かり易くすばらしかったです。
- 最新のリハビリ技術を知って驚きました。高島先生のリハビリに対する熱意を感じました。
- リハ教育、医療の現状と将来を楽しく学ぶ事が出来ました。いつか「生活リハ」の教育と現状についてもお話を聞きたいと思いました。
- 最新のリハから長崎の現状まで大変勉強になりました。
- 専門的な用語が多くて理解しにくかったが最新のリハビリマシーンには驚きました。リハビリの大切さを学びました。一般人には難しすぎたと思います。
- 運動に対してもリハ栄養に関しても考え、リハビリを行っていかないといけないと思っているがリハ栄養導入する対象者の選択はどのように行っているのか？

→ 高島英昭先生からのご回答 『行うべきは、“リハ栄養”ではなく、治療・ケア・栄養・リハビリ・生活支援など、患者さん・利用者さん個々の状態に応じて多種多様であり、何を重点的に行うかも対象者の状態によって異なると思います。リハ栄養する対象者を見極めるのではなく、対象者に何が必要なのかを見極めることが必要だと思います。その中で、リハビリテーションと、リハビリテーションを行うのに必要な栄養管理が必要な方にはリハ栄養を行うと良いと思います。』